

都市再生整備計画(第2回変更)

うつのみやだいがくしゅうへんちく
宇都宮大学周辺地区

とちぎけん うつのみやし
栃木県 宇都宮市

平成30年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮大学周辺地区	面積	460 ha
計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度	交付期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度				

目標 大目標:安全性・利便性の高い良好な住環境を有する生活拠点の形成 目標1:良好で質の高い居住環境づくり 目標2:安全性・防災性を備えた市街地の形成 目標3:市街化の進行による都市型浸水対策の推進 目標4:地域コミュニティの強化及び住民間交流・まちづくり活動の促進

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> ・本計画地区は、JR宇都宮駅から南東に約2kmに位置し、昭和47年に都市計画決定された宇都宮東部土地区画整理事業区域を中心に、周囲には国道4号、国道123号、主要地方道宇都宮真岡線が縦横断するなど、市街地を形成する上で高いポテンシャルを有する地区である。 ・しかしながら、特に宇都宮大学東南部においては、狭隘道路や行き止まり道路が多く、無秩序な市街化が進んでいるとともに、地区内を通過する都市計画道路3・3・105産業通りは、宇都宮市内環状線のバイパス的路線として、中心部の交通渋滞の解消に資するものと期待されており、土地区画整理事業による更なる事業推進が必要となっている。また、宇大西地区や築瀬地区など土地区画整理事業の未着手地区においても、道路、公園などの公共施設の整備改善が課題となっており、地域とともに今後のまちづくりのあり方を検討していく必要がある。 ・本地区及び地区周辺においては、土地区画整理事業が5地区整備済であり、市街化の進行が顕著であるが、一部公園が未整備となっていることから、防災性や良好な住環境の観点から、計画的な整備が求められている。 ・また、本地区東部を流れる準用河川越戸川、大久保谷地川について未改修であるため、大雨時などに浸水被害が生じており、治水安全性の向上を図るため、関連事業の進捗と調整を図りながら、河川整備を進めていく必要がある。 ・また、土地区画整理事業や宅地開発の進行により本地区内の人口は増加しているが、従前からの居住者と転入者の交流やまちづくりに係る多様なニーズに対応する必要がある。 ・本地区では、平成20年度から平成24年度に都市再生整備計画事業(第二期)による取組を進めた結果、地区の課題解決に対し大きな成果を挙げたとして、評価委員会において事業効果を高く評価されたところであり、残された課題に対応し、都市再生整備計画(第三期)による社会資本整備総合交付金を活用した事業推進による更なる事業効果の発現が期待されている。 ・こうした状況を踏まえ、本地区において、公共施設の整備改善を図り、良好な住環境を有する安全で計画的なまちづくりを行うものである。

課題 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内においては、市街化の進行が顕著であり、基盤整備等による良好な居住環境づくりが求められている。 ・特に宇都宮大学東南部においては、無秩序な市街化が進行しており、安全面、防災面に課題があることから、計画的な基盤整備が求められている。 ・地区の東部において、大雨時に浸水被害が発生しており、水害の無い安全・安心なまちづくりを進めるため、計画的な河川整備が求められている。 ・土地区画整理事業や宅地開発等により、本地区の人口は増加しているが、従前からの居住者と転入者の交流やまちづくりに係る多様なニーズに対応できる施設の整備が求められている。

将来ビジョン(中長期) <ul style="list-style-type: none"> ・本市では、「第5次宇都宮市総合計画(平成20年3月策定)」において、土地利用の適正化と拠点化の促進により都市のコンパクト化を図るとともに、拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携交流のための軸を形成・強化するなど「ネットワーク化」を促進し、本市の都市の成り立ちを踏まえた、これからの人口規模・構造や都市活動に見合った都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指している。 ・宇都宮大学周辺地区においても、土地区画整理事業等の推進により、安全・安心で快適な居住環境の形成を図ることとしている。
--

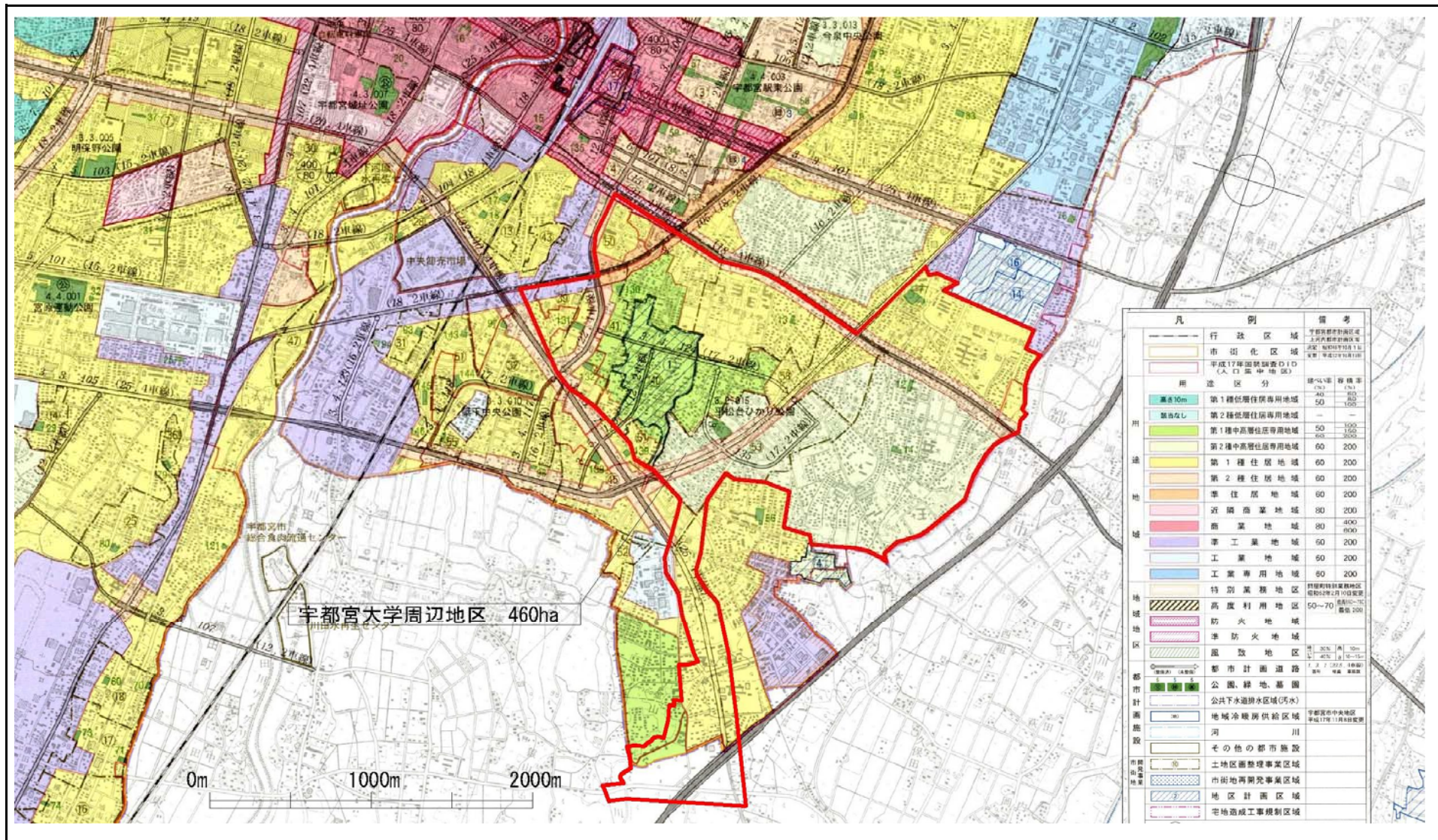
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
地区内人口の増加	人	宇大東南部地区の居住人口	土地区画整理事業や関連事業の進捗により、良好な市街地が形成され、居住人口が増加することが見込まれる。	6,100人	平成24年度	6,300人	平成29年度
狭隘道路率	%	宇大東南部地区の狭あい道路(幅員4m未満)の割合	土地区画整理事業の進捗により、狭あい道路の解消が図られ、地区の安全性・防災性が向上することが見込まれる。	41.33%	平成24年度	28.67%	平成29年度
浸水想定面積	ha	準用河川大久保谷地川及び準用河川越戸川の浸水想定面積	準用河川大久保谷地川及び準用河川越戸川のバイパス河川整備により、浸水被害の減少が見込まれる。	27.92ha	平成24年度	26.06ha	平成29年度
地域コミュニティセンター利用回数	回/年	地域コミュニティセンターの年間利用回数	地域まちづくり活動の拠点施設の整備により、地域活動がより活発となり、「地域コミュニティセンター利用回数」の増加が見込まれる。	4,500回/年	平成25年度	4,800回/年	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(良好で質の高い居住環境づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地の面整備と合わせ関連する都市基盤の整備を進めることで、利便性の高い、良好で質の高い居住環境づくりを進める。 また、土地区画整理事業の長期未着手地区となっている宇大西地区、築瀬地区において、地域とともに今後のまちづくりのあり方を検討する。 	<p>街区公園(土地区画整理事業地内)(基幹事業/公園) 城東わくわく公園(基幹事業/公園) 石井地域コミュニティセンター(基幹事業/高次都市施設) 陽東地域コミュニティセンター(基幹事業/高次都市施設) 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 平松本町第三土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) まちづくり検討・調査支援事業(宇大西地区、築瀬地区)(提案事業/地域創造支援事業) 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(関連事業/土地区画整理事業(旧道路特別会計)) 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(関連事業/都市再生区画整理事業) 宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業(関連事業/土地区画整理事業(旧道路特別会計)) 宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業(関連事業/都市再生区画整理事業)</p>
<p>整備方針2(安全性・防災性を備えた市街地の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇都宮大学東南部において、旧道路特別会計で整備される都市計画道路の整備に加え、密集市街地の区画道路の整備を行うことで、狭隘道路の解消を図り、安全な歩行環境・走行環境を創出するとともに、緊急車両の走行空間を確保する。 また、大規模災害時の一時避難場所等を確保するため、街区公園を整備することで、安全性・防災性を備えた市街地の形成を図る。 	<p>街区公園(土地区画整理事業地内)(基幹事業/公園) 城東わくわく公園(基幹事業/公園) 市道1168号線(基幹事業/道路) 市道356号線(基幹事業/道路) 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 平松本町第三土地区画整理事業(基幹事業/土地区画整理事業) 取り付け道路整備事業(提案事業/地域創造支援事業) 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(関連事業/土地区画整理事業(旧道路特別会計)) 宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業(関連事業/都市再生区画整理事業) 宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業(関連事業/土地区画整理事業(旧道路特別会計)) 宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業(関連事業/都市再生区画整理事業)</p>
<p>整備方針3(市街化の進行による都市型浸水対策の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 急速な都市化が進む本地区において、地区内の河川改修及び雨水貯留管、雨水管渠整備を行い、都市型浸水被害の解消を図る。 	<p>準用河川越戸川改修事業(バイパス)(基幹事業/河川) 準用河川大久保谷地川改修事業(バイパス)(基幹事業/河川) 雨水貯留管整備事業(提案事業/地域創造支援事業) 雨水管渠整備事業(提案事業/地域創造支援事業)</p>
<p>整備方針4(地域コミュニティの強化及び住民間交流・まちづくり活動の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口が増加している本地区において、地域コミュニティセンター整備等により、従前からの居住者と転入者の交流やまちづくりに係る多様なニーズに対応する。 	<p>石井地域コミュニティセンター(基幹事業/高次都市施設) 陽東地域コミュニティセンター(基幹事業/高次都市施設)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

宇都宮大学周辺地区(栃木県宇都宮市)	面積 460 ha	区域 宇都宮市平松町, 平松本町, 峰町, 東峰町, 梁瀬町, 石井町, 下栗町, さるやま町, 上桑島町, 陽東1丁目, 陽東2丁目, 陽東7丁目, 陽東8丁目の各一部
--------------------	--------------	--



宇都宮大学周辺地区(栃木県宇都宮市) 整備方針概要図

目標	安全性・利便性の高い良好な住環境を有する生活拠点づくり	代表的な指標	地区内人口の増加 (人)	6,100 (H24年度)	→	6,300 (H29年度)
			消防活動・救急活動困難区域率 (%)	41.33 (H24年度)	→	28.67 (H29年度)
			浸水想定面積 (ha)	27.92 (H24年度)	→	26.06 (H29年度)
			地域コミュニティセンター利用回数 (回/年)	4,500 (H25年度)	→	4,800 (H29年度)

